

議会だより

太子

だいで

No.192

平成30年2月5日発行

茨城県
太子町議会

目次

- 常任委員会報告…………… 2～3
- 平成29年第4回定例会 …… 4
- 改正条例（議員定数） …… 6
- 一般質問目次…………… 7
- 「わくわくわたしの夢」…16

を報告します!!

議会閉会中 各委員会が自主的に行っています。

- ・ 5月22日 旧つくばの森現地視察（浅川地内）
- ・ 8月23日 水道事業の状況調査（役場内）
- ・ 11月22日 栃木県那珂川町役場新庁舎視察
（総務委員会と合同）
中郷地内災害現場視察（ // ）
- ・ 12月 4日 大子工務所との懇談会（工務所内）

◇総務委員会

- ・ 5月10日 防災に関する研修会（役場内）
- ・ 11月22日 栃木県那珂川町役場新庁舎視察
（産業建設委員会と合同）
中郷地内災害現場視察（ // ）



木の温もりが感じられる那珂川町庁舎内

総務委員会

那珂川町役場新庁舎を視察

本町の役場庁舎建設が検討されていることから、庁舎建設について研修視察を行った。今回は、完成して間もない栃木県那珂川町の役場庁舎を視察した。2階建てで延床面積3927平方メートル（1190坪）、鉄筋コンクリートと一部木造と鉄骨造りの構造である。すっきりとした外観が印象的だった。内装は、地産の杉材がふんだんに使用されており、木の温もり

が感じられる空間が広がっていた。職員の説明によると、町有林にある樹齢50～60年の杉を活用したとのことだった。

また、省エネルギー化も図られている。照明はLEDを採用し、自然採光も十分取り入れた設計だ。屋根の雨水を活用し、トイレの洗浄水として利用しているなど、庁舎全体が環境に配慮した造りである。

災害時の拠点としての機能も備えている。会議室や議場の机は可動式になっているため、一定方向に集約して災害時の一時避難場所として対応できる造りだ。自家発電装置も停電時は72時間連続運転が可能な設備になっている。

那珂川町新庁舎の建設費は庁舎本体工事・外構工事・防災関連工事・付帯施設工事を含め、全体で19億6900万円である。本町の新庁舎も、コンパクトで機能性に優れ、木の温もりもあり、町民が利用し

産業建設委員会

道路陥没現地視察と

大子工務所との

意見交換会

やすい庁舎であること、また、防災機能に優れた庁舎であることも必要である。今後の進展を見守りたい。
（中郡一彦）

11月22日産業建設委員会を中心に議員10名と担当課で県道大子石井線の中郷地内の地滑り現場を視察した。

県道に80cmほどの陥没による段差ができてしまい、道路わきの民家2軒にも地割れと陥没ができ、居住不可の状態であった。道路に沿って流れている中郷川の擁壁も土圧により膨らんでおり、いくつかのひび割れも見られ、これ以上地滑りが進めば崩壊の恐れも感じられた。

その後、う回路となつて



大子工務所との意見交換

いる北吉沢地区の町道を視察した。この道路は普段北吉沢地区の住民が主に使用している道路であり、狭い所も多く、沢や田までの落差が大きい所も多い。建設課では数カ所に車両の交差点所を設けたり、通行注意の看板を立てるなどしているが、抜本的な解決には至っていない。また日陰の場所も多く、冬季の降雪時には、雪がアイスバーン状態になり、通行に注意を要する箇所がいくつもある。多くの車両が行き交うには危険性が高いと思われる、県道の陥没個所の付近に仮設の

各常任委員会の委員会活動

◆文教厚生委員会

- ・ 5月30日 新教育長との懇談会（教育委員会）
- ・ 11月28日 特別養護老人ホーム久慈川荘との意見交換会（久慈川荘内）

◆産業建設委員会

- ・ 4月10日 みどり号の運行状況の把握（佐原方面）
公共交通計画の現状説明（役場内）
- ・ 4月19日 みどり号の運行状況の把握（黒沢方面）
- ・ 4月26日 みどり号の運行状況の把握（下小川方面）
町内公共交通運行業者との懇談会（役場内）

う回路を早急に作る必要性を感じた。

12月4日には、地元の県議とともに大子工務所において所長、課長、係長と町議10名による意見交換会を行った。工務所の説明によると、今回の陥没は地すべりによるものであり、現場に取り付けた計測器を見ると現在も少しではあるが動いているとのことであった。

改修にはかなりの費用と期間を要するということがあったが、産業建設委員会としては、現在う回路としている北吉沢地区の道路の降雪時の危険性を指摘し、出来る限り早期に現場近くに仮設のう回路を整備するように要望した。

（金澤真人）

文教厚生委員会

社会福祉法人清和会を視察

社会保障制度国民会議の

報告書が、昨年公表された。

国が今後目標とするものは「子ども・子育て支援、経済政策、雇用政策、地域政策と連携し、非正規雇用の労働者の雇用安定・処遇改善をはじめとする全ての世代を支援の対象とし、その能力に応じて支え合う全世代型の社会保障を2025年モデルへ転換すること」であるとされた。

2025年頃には本格的に直面する超高齢社会の問題は、医療・介護・社会保障制度を大きく変化させるものであるが、わが大子町は国より約10年ほど先に進んでいる。

この状況の中、福祉・教育に関する行政事業に、大変なご協力をいただいている「社会福祉法人清和会」と文教厚生委員会との意見交換会が実現できた。清和会は、特別養護老人ホームを中心とする各種介護事業、だいが保育園、池田保育園を中心とする保育事業等、多くの事業を運営され

ている。

これらのことから当初どの分野から話し合いを始めるべきか迷いがあり、第1回目は清和会の基本的な事業の説明を受けた。介護事業については、以前は入所希望が大変多く、希望に添えない状態が続いたが、現在は落ち着いてきているとのこと、職員の補充やスキルの向上を目指した教育の実施に力を入れている。

保育事業については、放課後児童クラブの運営に、行政からのさらなる協力を依頼された。

（野内健二）



久慈川荘職員との意見交換

庁舎建設検討委員会

新庁舎建設検討委員会から

役場の現庁舎は、築後56年が経過し、建物本体や設備等が老朽化し、耐震の問題など安全性が確保できない状況となっている。

今回、庁舎の耐震化が未実施の市町村に対し建て替えの支援が国から受けられることになり、委員長を副町長が務める庁舎建設検討委員会を16名の委員で設置した。本年6月以降計6回の協議を重ね、新庁舎建設の基本構想や基本計画案を取りまとめ、1月上旬町長に答申したところである。

建設場所については、利用者の利便性を考慮し3つの候補地を選定した。建物規模は、4200から4500平方メートルが必要とされている。国の支援は、平成32年度までに完成させる条件があるため、今後のスケジュールが急がれる。（齋藤忠二）

第4回 定例会

平成29年度 一般会計補正予算

農作物被害防護柵等設置費
補助金など補正予算を可決！

8千34万8千円の増額

平成29年第4回定例会が
12月6日から14日までの9
日間の会期で開かれまし
た。

条例の改正、平成29年度
一般会計・特別会計補正予
算など、町長から提出され
た議案14件と、議員から提
出された議案「大子町議会
議員定数条例の一部を改正
する条例」を審議し、原案
どおり可決されました。
一般質問では8人が登壇
し、町政に対しての質問、
答弁が展開されました。

一般会計補正予算（第3
号及び第5号並びに第6
号）の主な歳入歳出は、別
表1のとおりです。補正後
の予算総額は、歳入歳出そ
れぞれ95億4884万5千
円となりました。歳入歳出
予算のほか、債務負担行為
の追加9件、地方債の追加
1件、変更1件がありまし
た。

また、国民健康保険事業
特別会計を含む特別会計の
補正額については、別表2
のとおりです。

別表1

一般会計補正予算の主なもの

歳 入	補 正 額
地方交付税	2,363万1千円
国庫支出金	55万円
県支出金	2,926万6千円
諸収入	2,530万1千円
町債	160万円



定例会の様子

歳 出	補 正 額
避難所開設運営委託料	1万円
林業施設災害復旧費	229万9千円
道路橋りょう災害復旧費	434万9千円
河川災害復旧費	374万9千円
支障木伐採業務委託料	201万3千円
ぽちちでアート推進事業費	68万円
農業行政システムデータ移行等業務委託料	475万2千円
大子町地域公共交通会議補助金	22万9千円
国・県支出金等返還金	499万7千円
地番図修正業務委託料	399万6千円
生活管理指導短期宿泊事業委託料	134万3千円
花き苗購入費	54万円
有害鳥獣捕獲報奨金	211万2千円
農作物被害防護柵等設置費補助金	420万円
愛宕町内溜池用排水路整備工事費	200万円
観光施設公衆無線 Wi-fi 設置事業費	27万7千円
森林の温泉ボイラー制御盤交換工事費	53万円
道路維持費（工事分）工事請負費	280万円
大子町消防団応援事業費	21万9千円
（仮）国民体育大会推進事務室電話配線工事費	112万2千円

別表2

特別会計等の主な補正額

特別会計等	補正額（増額）	補正後の予算額
大子町国民健康保険事業特別会計	2,996万9千円	29億2,738万1千円
大子町介護保険特別会計	140万4千円	25億9,740万3千円
大子町水道事業会計（収益的収入）	12万円	4億9,315万7千円
〃（収益的支出）	12万4千円	4億6,009万3千円

第4回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第80号	平成 29 年度大子町一般会計補正予算（第 3 号）の専決処分の承認を求めることについて	原案可決
議案第81号	平成 29 年度大子町一般会計補正予算（第 4 号）の専決処分の承認を求めることについて	原案可決
議案第82号	大子町水道水源保護条例	原案可決
議案第83号	大子町個人情報保護条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第84号	大子町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第85号	大子町地域優良賃貸住宅条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第86号	大子町及び常陸大宮市との間の戸籍謄本又は抄本等の交付等に係る事務の委託の廃止について	原案可決
議案第87号	大子町営宿泊施設やみぞの指定管理者の指定について	原案可決
議案第88号	大子町特別名誉町民の選定について	原案同意
議案第89号	平成29年度大子町一般会計補正予算（第 5 号）	原案可決
議案第90号	平成 29 年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議案第91号	平成 29 年度大子町介護保険特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第92号	平成 29 年度大子町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第93号	平成 29 年度大子町水道事業会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議員提出 議案第 4 号	大子町議会議員定数条例の一部を改正する条例	原案可決

議案の賛否状況

採決に当たり、意見が分かれた議案の賛否状況をお知らせします。

議案 番号	議 案 名	賛否数		議 員 名														
		賛 成	反 対	菊池 富也	須藤 明	藤田 英夫	菊池 靖一	櫻岡 義信	中郡 一彦	岡田 敏克	大森 勝夫	金澤 眞人	齋藤 忠一	佐藤 正弘	鈴木 陸郎	藤田 稔	野内 健一	吉成 好信
86号	大子町及び常陸大宮市との間の戸籍謄本又は抄本等の交付等に係る事務の委託の廃止について	13	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	－	○	○	○
議員提出 議案第4号	大子町議会議員定数条例の一部を改正する条例	8	6	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×	－	×	○	×

※○＝賛成、×＝反対、△＝欠席 －＝議長（鈴木陸郎議員）は採決に加わりません。

大子町特別名誉町民に菊池龍三郎氏を選定同意

菊池龍三郎氏は、大字下野宮に生まれ、平成 16 年 9 月に国立大学法人茨城大学学長を務めたほか、平成 24 年度から 2 期 4 年にわたり大子町町民発想地域づくり助成事業審査委員会委員長として、平成 22 年 5 月から現在に至るまで大子町行政改革懇談会の会長として、本町の行政改革の推進に多大な功績を挙げている。

学術文化及び社会公益上顕著な功績があり、町民が郷土の誇りとして、ひとしく尊敬できる者であると認められる。

○可決された議案の内容は○

「町長提出議案第82号」

◇大子町水道水源保護条例

○制定の概要

・町の水道に係る水質の汚濁及び水源枯渇を防止し、水環境の保全と生命の源となる水源を保護するものです。

「町長提出議案第87号」

◇大子町営宿泊施設やみぞの指定管理者の指定について

①指定管理者に管理を行わせる施設

所在地 大子町矢田524番地2
名称 大子町営宿泊施設やみぞ

「町長提出議案第86号」

◇大子町及び常陸大宮市との間の戸籍謄本又は抄本等の交付に係る事務の委託の廃止について

○廃止の概要

・戸籍謄・抄本は、マイナンバーカードにより、コンビニや一部の郵便局で交付できることになり、常陸大宮市と事務の相互委託を廃止するものです。



大子温泉やみぞ

②指定管理者に指定する団体
所在地 大子町池田
2830番地の1
名称 一般財団法人大子町振興公社
代表者 町長 綿引久男

議員定数

削減案が可決

次回選挙より議員定数が13名に

議員定数を13名に改める議案が議員提出議案で審議され、賛成8名、反対6名で（議長は採決に加わらない）可決されました。

提案理由の概要は、議員定数等調査委員会による県内議会への定数の動向調査による見解や、議員一人当たりの任務増加により議会の活性化を目指す見解など、定数削減の理由を議会改革の見地から述べています。

提案者8名を代表し、大森勝夫議員が提案理由を説明して総括質疑となり、5名の議員が定数削減案に対して質疑をおこないました。その後、討論が実施され、反対者2名、賛成者2名の議員がそれぞれの立場から、定数削減に対する議論を展開し、採決に至っています。

反対討論

○町民のアンケートなどから、議会の対応が見えにくい、議会が町執行部に影響を与える体制になっていない、議会を評価する情報や材料が住民側では少なく感じる、といったことは定数を削減しなければできないことなのか。大子町議会基本条例第17条の議員定数改正においては、広く町民の意見を聴くとうたっている。条例の主旨を全うしたと思えない。条例違反である。

佐藤正弘議員

○大子町は広い面積のため、2名減になると町民の意見を反映できなくなることは明白である。議員としてやらなければならないのは、定数削減よりも企業誘致など人口増に対するさまざまな課題に取り組むことが先決である。

岡田敏克議員

賛成討論

○広く町民の意見を聴くということに関しては、議員の利益になることを戒め、区長会、議会報告会、議員個々の活動に寄せられた町民の意見を参考に検証したことで十分である。町民の参画を積極的に進めることにより、議会への理解が深まり、将来、若い世代から議員を目指す人が現れることも期待でき、今後あるべき姿を求め、出された13名という提案は将来に向けて意義のあることと考える。

菊池靖一議員

○今回の定数削減案は、町民の選択できる権利を守るとともに、それらは必ず議員の意識の向上、議会の資質の向上につながる。大切なのは、今の自分の見地ではなく、将来を見据え身を切る改革が必要である。

齋藤忠一議員

平成29年第4回定例会

町政に

ここが聞きたい！これを言いたい！

8人の議員が一般質問！！

質
問
席

質 問 内 容	ページ	質 問 者
障がい者への支援計画の進捗は	P. 8	藤田 稔 議員
大子町の観光行政は	P. 9	吉成好信 議員
大子町の少子化対策は		
東海第2原発の20年延長は		
敷地と建物一体で庁舎案公募は	P.10	大森勝夫 議員
空き店舗の情報発信の取り組みは		
太陽光発電事業への対応は	P.11	菊池靖一 議員
道の駅の駐車場整備の考えは		
高齢者の認知機能検査を町内で		
町長の選挙公約の進捗状況は	P.12	菊池富也 議員
小規模店舗の新築、改装への支援策は		
保護者の声があがれば検査を実施するのか	P.13	佐藤正弘 議員
山菜、キノコ、イノシシの放射線量は		
東海第2原発の運転延長の申請をどのように考えるか		
現職議員の法律違反をどう考えるか	P.14	岡田敏克 議員
町有財産について		
今後の路側帯グリーン化推進は	P.15	野内健一 議員
健康寿命をいかに延ばしていくのか		

◇一般質問とは…

定例会において、議員が町民の代表として、行政全般にわたり町の考え方や施策の進捗状況、将来における施策方針等を質すことです。

また議員は、町長等の答弁を受け、疑問を質すことはもとより、町民の立場に立った事務事業の改善や施策提言をすることも、議員の重要な権限です。

インターネットで映像配信中

定例会及び臨時会をインターネットで生中継するとともに、閉会後は録画配信も行っています。スマートフォンでも見るができますので、大子町議会の様子を是非映像でご覧ください。

(※議員の顔写真わきにあるQRコードを読み取ることにより、議員の一般質問へアクセスします)



ホームページから 議会中継へクリック



スマートフォンから





障がい者への支援計画の進捗は

【答】アンケート調査を実施した



藤田 稔 議員

また、高齢者で申請書を満足に書くことができなかったことが要因かと思う。

【藤田】対象者には申請できるときの対応はされているのか。

【福祉課長】申請書の記載のお手伝いはしている。

【藤田】行政情報の提供や、孤立しがちな高齢者と行政のパイプ役となっているのか。

【福祉課長】残念ながら郵便局のシステムではできないので後退した。

【町長】郵便局関係者と話をして、さらに充実したい。

【藤田】郵便局の見守りサービスの事業内容は。

【福祉課長】専属で1名の女性の方が歩いて、郵便局OBの方2名が補助をしている。各郵便局長さんも最低1名は担当している。

【藤田】以前の事業利用者の半数となっているが。

【福祉課長】以前は本人の了解を取り付けてなかった。

【藤田】行政連絡員の班長の高齢化による、担い手不足の対応は。

【総務課長】行政懇談会において、先進的な連絡班の事例を説明し対応をお願いしている。

【藤田】回覧や配付物の減量化への対応は。

【総務課長】広報紙の掲載に切り替えるなど、連絡班長の負担軽減につなげたい。

【藤田】集金業務の負担軽減のため一括納入実施の現状は。

【総務課長】平日は一括納入できるように取り扱っている。福祉課の窓口は、毎週水曜日、午後7時まで延長している。納入窓口へ持参が困難な場合は、申し出により個別訪問による集金で対応している。

【藤田】障がい者計画・障がい者福祉計画策定業

【藤田】老人クラブ会員の減少や役員のなり手不足の解消に向けて、どのような支援を考えているのか。

【福祉課長】支援が難しい面があるが、活動を広報していくことが大事と思う。

【藤田】老人クラブへの補助金については、どう考えているのか。

【福祉課長】補助金の申請を忘れていた状況でもある。（補助金を）上げてという話はない。

【藤田】連合老人会の芸能祭が2月ごろ開催されると聞いている。支援は考えているのか。

【町長】まいんの使用料の免除等、社会福祉協議会とともに支援していきたい。

【藤田】いきいきサロンへの公用バスの利用は、なぜ年に1度しかできないのか。

【町長】そのようなことがないように対応したい。

【藤田】障がい者計画・障がい者福祉計画策定業

務委託事業の進捗状況はどうか。

【福祉課長】アンケートを実施した。障がい者が利用できる情報を、手引きにまとめて手渡せるようにするなど、策定作業中である。

【藤田】健康寿命日本一の町を目指した事業推進についての考えは。

【町長】食生活、運動、社会参加が健康づくりに必要とされている。それぞれの分野で事業を展開してきている。町民が事業に積極的に参加できる環境づくりが、課題だと思っている。



交流の場の支援を（下野宮東区いきいきサロン）



大子町の観光行政は

〔答〕現場での対応が非常に重要と感じる



吉成好信 議員

で、特に渋滞が発生している。

駐車場不足を解消するために、役場駐車場、役場西側砂利駐車場、まいん、湯の里公園のほか、今回も民有地を借用して臨時駐車場にするなどの対策をとっている。

〔観光商工課長〕 警備員と連携をとるように努め、現場の対応が非常に重要だと感じている。委託業務内容について、打合せを重ね連携を強化していきたい。

〔吉成〕 警備員の委託業務については、指導を徹底すべきとの声があるが。

〔吉成〕 秋の観光シーズンを終え、大子町の観光行政について伺いたい。特に渋滞対策や警備員配置などの対策は。

〔観光商工課長〕 紅葉時期については、袋田の滝と永源寺周辺に警備員を配置し、交通誘導と駐車場の案内の業務を委託している。

また、大子工務所と連携しながら国道118号の迂回路などの対策をしている。紅葉のピーク時には、永源寺周辺や道の駅周辺



満車状態の永源寺駐車場



紅葉シーズンの交通渋滞対策が課題だ

大子町の少子化対策は

〔吉成〕 現在町の商店街には子ども用の商品が少ない。少子化対策に対応できるように、町は町、議会は議会で議論し、方向性を考えてはどうか。

〔町長〕 需要と供給の問題で、大変難しいと思う。お店に子ども用の商品がない

ということ、それだけ子どもが少ないということ、で、商店も仕入れをしないため悪循環になっている。地元商店街としても、子どもに親まれるような、商店街として親しみをもっていただくようなことが必要だと思う。

東海第二原発の20年延長は

〔吉成〕 東海第二原発の20年延長について、大子町議会は再稼働反対の請願陳情の趣旨採択をしている。東海原発の適合性審査の現段階は、15市町村でつくる首长会議があり現状を説明している状況である。

3・11時に被災し、稼働から38年も経過して老朽化が目立つ。トラブルの問題

も日本一多いと言われ、海抜が8mという低地、太平洋沿岸で最も低い場所に設置され、30km圏内に96万人の人口を抱え、広域避難計画なども計画されていない原発について町長はどう思うのか。

〔町長〕 私としては、再稼働する必要性はないと感じている。



敷地と建物一体で庁舎案公募は

〔答〕建設地を選定して庁舎案公募が筋



大森勝夫 議員

〔町長〕建設地は、来庁者の利便性、安全性、実現性などを考慮して選定し、デザインは後の話になる。場所を決め、その土地にあったデザインを募集するのが筋と考えている。

〔大森〕役場庁舎の新設について検討委員会で協議を進めているが、庁舎の建設地の選定は重要問題である。

立地を生かした庁舎プランという観点では、敷地と建物は密接な関係にある。建設地を確定後に建物の構想を練るのではなく、候補地を公表のうえ、立地条件を活かした庁舎提案プランを公募し、建設地選定の検討材料に生かす手法を導入してはどうか。

〔大森〕仮に、庁舎に防災拠点の機能を優先して求めれば適地は変わってくる。

利便性の観点を考察すれば、来庁者のなかで、自家用車と公共交通機関の利用割合はどちらが多いのか、高齢者を含めた来庁者の現状を調査し考慮すれば、利便性の意味も異なってくる。

建設地を含めたプランを公募公選することで、民意にある優先事項が明確に反映されるのではないかと。

〔町長〕検討委員会で、来庁者の利便性、安全性、実現性を基本として協議をし

ており、建設地よりデザインが優先されることはない。

〔大森〕町民の意見を求めるお知らせは、広報だいが708号のみで、庁舎に関する意見を町が求めていることすら知らない町民が多い。周知努力が足りないのでは。

〔町長〕町民への説明会を行うときは、広報紙へ掲載するなり広報に努める。

〔大森〕庁舎建設が検討されるようになった理由は、国の補助金制度の存在が大きい。しかし、制度の期限内だと、オリンピック需要などで建設費の高騰が危惧されている。建設時期をずらし国の制度に該当しなくても、財政負担は僅差ではないかといった推測もある。

国の期限付き制度の利用を優先すべきか、町民との

構想の時間を優先すべきか、考え方は。

〔町長〕建設コストが将来どう変動するか確証はない。国の補助事業を活用しなくても財源負担は増えないという推測だけでは検討できない。

空き店舗の情報発信の取組は

〔大森〕町内の空き店舗の利用を進めるため、物件に適した業種などの情報を含めた空き店舗情報の発信を行うべきではないかと。

〔観光商工課長〕新規事業で空き店舗の活用事業を実施し、空き店舗所有者から情報提供があれば、無料で町のホームページに掲載している。

〔大森〕情報発信の体制づ



築後56年が経過している役場庁舎

くりはよい。しかし、町のホームページを閲覧しても、空き店舗情報がどこにあるのか見つからなかった。探している人が、必要な情報にたどり着けなければ意味がない。改善の考えは。

〔観光商工課長〕空き家バンク情報のように、トップページから探しやすいホームページを構築していきたい。



太陽光発電事業への対応は

〔答〕担当課が情報確認して対応する



菊池靖一 議員

きや協議等の情報を集約して、意見書として事業者に周知し、更に地元の説明を十分に行うよう要請している。

〔菊池〕前冥賀地区で、すでに行われている造成工事では、敷地内の町道が削られている。この点について状況説明を。

〔まちづくり課長〕

8月に会社から概要書の提出があり、9月に関係課における手続きを整理し、意見書として事業者に対し周知した。その後、地域住民から道路の通行ができないという通報があり、事業者に事情を聞いた。道路法上の手続きや県の開発の手続きも行われな

造成工事が進められていたことが判明した。

〔菊池〕地元関係者への説明もないまま工事が進められていたが、町が把握できなかったのはなぜか。

〔町長〕太陽光発電を行う権利者が二転三転し、業者は手続きが終わっている



道の駅調整池を駐車場に利用できないか

いう認識で進めていた。

こういった案件は、行政としても把握しづらい事例だが、このような状況が起きてしまい申し訳なく思っている。今後、担当課が情報をしつかり確認して対応するように指導する。

道の駅の駐車場整備の考えは

〔菊池〕道の駅だこの駐車場整備について調査研究した実績は。

〔観光商工課長〕駐車場の問題は重要課題として考えている。駐車場の一部を2階建てにすることも検討したが、費用対効果という面から難しい。

〔菊池〕事案に対する今後の対応は。

〔建設課長〕顧問弁護士への相談に基づき、町道については現状回復という命令をしていきたい。更に、課としては個別に確認を行い今後も対応を進めていく。

〔菊池〕費用対効果という面では、駐車場と道の駅の運営自体をもっと特色のあるものに変えるなど、合わせて検討してはどうか。

〔観光商工課長〕「魅力度向上事業」の中で今後も検討していく。

高齢者の認知機能検査を町内で

〔菊池〕75歳以上の高齢者の免許更新は、高齢者講習の前に認知機能検査（大宮教習所）を受けるが、町内で実施出来ないか。

〔生活環境課長〕町内の実

施について働きかけをした経緯があるが、今回、再度確認したところ茨城県警察本部と前向きに協議中であると回答があった。引き続き働きかけを行っていく。



町長の選挙公約の進捗状況は

【答】かなりの部分で着手、継続中



菊池富也 議員

めに資格取得研修費用の全額補助などを実施している。

【菊池】日本一の子育て支援を目指し、医療の充実と幼児教育の充実をうたっているが、その内容は。

【町長】高校生までの医療費の無料化、妊産婦や乳児の健康診査の無料化、各種予防接種の無料化を実現。

また、子育て支援住宅は、現在40戸が完成し、袋田小、上小川小学校は入学者数が増え、学校の存続に寄与している。

【菊池】社会の変化に対応した教育体制の整備や、学童保育の充実。

【町長】小・中一貫校の実現に向けて努力する。また、放課後子ども教室や放課後児童クラブの事

業を充実していきたい。

【菊池】町民全体の文化活動の支援、伝統文化の保存活動の支援は。

【町長】百段階段でのひなまつり事業、よさこい茨城大会、丘の上のマルシェ事業など、地域の活性化に大きな役割を果たしている文



健康まつりでのヨガ体験

化活動に対して、支援し活動を強化していく。

また、伝統文化の保存活動には、地域の祭り文化支援事業により、屋台の保管庫整備に対し補助するとともに、文化財の保存活動や国への登録有形文化財の申請を実施している。

【菊池】農林畜産業への支援を図り、害獣駆除を強化するとあるが、成果は上がっているのか。

【町長】新規就農者に助成事業を実施し、着実に成果を上げている。また、イノシシの駆除は、昨年1525頭と大きく増え、

年々駆除頭数が増大している。

【菊池】特産品の販売体制の充実と観光の振興とあるが、現況は。

【町長】今月、大子町特産品販売流通公社を設立し、町の特産品の広報、販売促進などの活動を積極的に実行していく。

【菊池】選挙公約の達成度は。

【町長】かなりの部分は着手しているが、効果や成果が見えない事業もある。これを継続することが必要で、環境や体制を整える。

小規模店舗の新築、改装への支援策は

【菊池】町中心部や郊外の小規模店舗の新築や改装の際、個人の住宅同様の補助制度はできないか。

【観光商工課長】本年から大子町商店街空き店舗等活用支援事業により、店舗改修費や賃借料の一部を補助

している。国、県中小企業庁でも各種支援制度がある。

【菊池】町独自の支援制度はないのか。

【町長】店舗の新築の際の支援策は、今後検討する。



保護者の声があれば検査を実施するのか

【答】必要性が認められるかを判断する。

13人、平成27年で12人のB判定が見つかった。このことについてどの様に考えるのか。

【健康増進課長】講演会において、B判定について、これ以上検査すれば過剰診断、検査機器の精度がよい

ため小さな結節、のう胞などを見つけてしまうと説明があった。心配ないものと考えている。

【議員】保護者の声があれば検査を行うのか。

【町長】必要性が認められるかどうかで判断する。



佐藤正弘 議員

【佐藤】平成26年と27年のみ子どもたちの甲状腺検査を実施している。子育て支援、日本一の町をめざす観点から甲状腺の検査が必要ではないか。

【健康増進課長】福島県の線量は、放射線の影響を受けやすい乳幼児に甲状腺がんが発症がないこと、精度のよい検査機器により過剰診断につながることを踏まえ、現在のところ検査の実施は考えていない。

【佐藤】平成26年の検査で

山菜、キノコ、イノシシの放射線量は

【佐藤】福島原発事故から6年9カ月が経過する。町では、持ちこまれた、山菜、天然キノコ、イノシシなどの放射線量の検査を実施している。検査結果はどの様になっているのか。

【農林課長】平成25年から、山菜では、17種類、750検体の放射線量の測定が行われた。100ベクレルを超えたものはコシアブラの

みである。100ベクレルを超えた割合は、平成25年度95%であったが、平成28年度については、66%と減少傾向にある。しかし、依然として高い確率で検出される状態である。

キノコについては、29種類165検体が持ち込まれ、サクラシメジとチチタケの基準超過率が高く、平均するとサクラシメジで55

%、チチタケで77%が基準を超過している。イノシシ

については、平成27年基準を超えていたのは、22・8%であったが、28年度は、3・5%と減少している。

【佐藤】今後の検査の継続、公表についてどの様に考えるのか。

東海第2原発の運転延長の申請をどの様に考えるか

【佐藤】日本原電は、来年11月で運転から40年を迎える東海第2原発について、20年運転延長を

原子力規制委員会に申請した。これについてどの様に考えるのか。

【町長】原発の1番のメリットは二酸化炭素を排出しないという大きなメリットがある。一方で、福島原発の事故など、100パーセント安全ではない。太陽光発電、バイオマス発電など代替え発電施



廃炉作業が進められる福島原発。放射能の影響は今も残る

設も増えている。危険のある発電所を稼働する必要性はないのではないか。

るのか。

【農林課】直売所等での販売、放射能に対する不安の払拭のため、放射線量の測定を継続していく。結果についても引き続き公表していく。

答 話を伺っただけでは判断しかねる



岡田敏克 議員

【岡田】農地法に関するト
ラブルが袋田地内であった
と町民から聞く。平成26年
5月から7月に農地盛土工
事で申請書が無提出のため、地元民他から指摘され
た。騒ぎを起こしたのは元
役場職員と聞く。公の立場
の者が、このようなことを
しているのか。この事犯を
農業委員会は知っていたの
か。

【農業委員長】指摘はなかった。

【岡田】 当時の担当課長等

は退職。農業委員会会長が知らないだけだったということだ。平成29年3月頃、同じ土地で長く入院し退院してきたAさんが「俺の土地

も発生した。また、地元の人も発生した。また、地元の人からも農地に桜の木を植栽し農地法違反として騒がれたことも発生（※Aさんは耕作権がないため、お金を出して現議員（元役場職員）に仲介を依頼し農地を取得したもので、所有権移転登記ができない農地法第3条を適用。Aさんは所有権移転登記がされていないことが後で発覚し騒いだのである。農地法第5条を最初から適用すれば問題はな

かった。した。この時、農地には40から50本の桜の木が植栽され騒いだ事犯を農業委員会会長は知っているのか。

【農業委員会長】承知している。職員が現地を調査して確認した。その後、撤去され原状回復されたので対応は終了とした。

【岡田】現職の議員が関与している。これは大きな問題で、議会基本条例や政治倫理にも抵触。現職議員が法律違反をしている。栃木県那珂川町では、議員が法律違反で辞職している。はじめをつけるべきである。町長はどう考えるか。

【町長】 事実関係が全くわからない。話を伺っただけでは判断しかねる。この程度の答弁にさせていただく。

【岡田】議員は襟を正し、

選ばれた者だから町民のために働くこと。そういうことでなければならぬ。町は良くなれない。ダメなもの、ダメというものを、きちんとやっつけていかないと、この町はダメになる。



問題のあった農地（袋田地内）

町有財産について

【岡田】上岡小学校跡地利
 用で、一町民が町のために
 誘客し、町のPRをするた
 め町の担当課と協議し、町
 が後援、使用料を無料とし
 たことがなぜ結果として守

られないのか。私財を投じて町のためにやっているというのに。

更に跡地保存会から、イベント終了後にイベント使

用料として5万円の請求書が町民個人へ出されている。町が間に入って調整すべきではないのか。

【観光商工課長】 今後については検討したい。

その他の質問

○町職員の意識改革について



今後の路側帯グリーン化推進は

【答】国の交付金の利用など模索していく

がある。

【野内】今後、大子町はこの緑色の路側帯をどのように整備していくのか。

【建設課長】通学路など相談を受けた箇所を検討し、国などの交付金を利用できないか、合わせて模索していく。

電球化が、多く見られるが進捗状況は。

【財政課長】先月末現在で、町内の防犯灯1482基中243基が実施済みで、割合としては約16・4%となっている。今後設置をするものは全てLED化する。



野内健一 議員

【野内】道路は車と歩行者が分離して利用できるよう、歩道が整備されていることが交通安全上望ましいが、町道の道路は両端に白い連続した区画線を引いて、路側帯としている道路が目立つ。その中で緑色の路側帯を見かけるがその効果は。

【建設課長】歩行者にとっては、緑色にカラー化を図ることによって自動車が行スペースを認識して走行していただけるという効果

【野内】歩道工事をするより、塗装工事の方が安価ではないかと思われるが、どのくらいの費用がかかるか。

【建設課長】1平方メートルあたり大体2900円くらいかかる。



緑色路側帯の効果が望まれる

健康寿命をいかにして延ばしていくのか

【野内】高齢化が増々進む中で、健康寿命をいかに延ばしていくのか、最も重要な点であると思う。その中で今年4月から認知症の方とその家族を対象とした「認知症初期集中支援チーム」が設置されたが現況は。

【福祉課長】認知症施策推進総合戦略、いわゆる新オレンジプランというのがあり、この中で支援チームの設置が求められている。サポート医としての専門医と医療と介護の専門職各1名で構成され活動している。

家庭訪問と月1回のチーム会議を開いている。活動実績は14件で、その内10件は支援が終了している。

【野内】今後この事業が周知されてくると、チームのスタッフが人数的に不足する心配はないか。

【福祉課長】現在、地域包括支援センターでは、チー

ムの相談と並行して物忘れ相談も実施しているので、新たに2名を養成して、チームを2班編成にしようと考えている。

【野内】健康寿命をいかに延ばしていくか、県内の各自治体では様々な取り組みが実施されているが。

【福祉課長】実施された研究の成果が国に採用された「利根プロジェクト」は大変有名な事業である。県南の利根町において約10年間実施されたこの研究はその後、厚生省で採用され認知症の予防効果として、30分以内の昼寝、ウォーキングなどの有酸素運動、EPA、DHAなどを多く含む青背の魚、トマトの色素であるリコピンを含んだ食品などが有効であると実証された。大子町としても、これら研究の成果を利用して役に立っている。

— 大子っ子の夢、応援しています —

わくわく

わたしの夢



私の将来の夢は、バスの運転手になることです。バスの運転手として働く父の姿に憧れて、そう決意しました。

そのため、昨年度の職場体験学習では、滝交通に行きました。その体験を通して、働くことの大変さやコミュニケーションの大切さを学びました。乗客の命を預かるため、毎日欠かさず細かな点検を行ったり、快適に

乗ってもらうために、バスの隅々まで掃除したりしています。また、どの運転手さんも笑顔で接してくれました。だから私も日ごろから、細かなところまで気を配ることや友達と笑顔で接すること

を心がけています。夢を叶えるためにも、今はしっかりと勉強をし、日々努力していきたいと思えます。



大子西3年
つるかわ だい き
鶴川 大輝さん
(大字左貫)

今回の表紙

今回の表紙は、滑川浩康様作品の「厳冬の滝」です。名勝「袋田の滝」を題材とした作品は数多くありますが、凍った滝と周りに積もった雪、そして晴れ上がった冬の空。この光景にはなかなか出会えませんが、厳寒の大子町を象徴する作品です。でも、もうすぐ春の足音が聞こえてきます。

3月定例会

開催予定

▽7日(水)	開 会
▽8日(木)	11日(日)
	自宅審議
▽12日(月)	一般質問
▽13日(火)	一般質問
▽14日(水)	一般質問
▽15日(木)	逐条審議
▽16日(金)	逐条審議
	閉 会

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

広報研修会

わかりやすい議会だよりをお届けするために、広報委員は7月と9月に開催された全国町村議会議員広報研修会に参加しています。

改善例を挙げると、本号から、QRコードを取り入れました。一般質問のページにあるQRコードをスマートフォンなどで読み込めば、その議会の録画を見ることが出来ます。スマホ世代にも議会の模様に興味を持ってもらう狙いがあります。議会では、何が繰り返されているのか。それを伝える役割を広報委員会はしっかりと務めていきます。

大子町議会

広報委員会

委員長	大森勝夫
副委員長	菊池靖一
委員	中郡一彦
委員	佐藤正弘
委員	鈴木陸郎
委員	齋藤忠一

あとがき

年があらたまり、平成の年数も30に繰り上がりました。やがて年号もあらたまる運びとなっています。

改めることは新ためること。日本が長き世にわたり国として継承できたのは、あらためる感覚に長けていたからかもしれません。

お伊勢様の式年遷宮しかり、新年飾りを鳥追い行事で御焚き上げ再使用しない民間の風習などは「あらためる」ことを尊重する日本人の精神の現れです。

議会も定数を削減し13名に改めました。厳しい環境のなか熱意ある議員であるべきと鼓舞する改新です。

また、県内最低の報酬額も、次世代議員の誕生のために改善が必要といえます。

(大森勝夫)